

# 平成24年度事務事業評価シート

取組みコード

32133

区分	事務事業	担当課	健康長寿課	作成日	平成24年5月17日
事業名	高齢者インフルエンザ予防接種事業費	開始年度	平成14年	予算科目	4.1.2.2.2

## 1. 事業の概要

総合計画での位置づけ	
部	第3部 健康でゆとりとふれあいのまちづくり
章	第2章 いきいきと暮らす生涯健康づくりの推進
節	第1節 健康づくりの推進
基本施策	3 高齢期の健康づくりの推進
取組みの基本方向	(3)高齢者インフルエンザ予防接種の接種率の向上につとめるとともに、感染症予防についての普及・啓発をはかります。
根拠法令等	予防接種法
目的 (誰・何を対象に、何のために)	主に65歳以上の高齢者を対象に、インフルエンザ予防接種助成事業を行い、感染症予防に努める。
内容・方法 (何をを行っているのか)	満65歳以上の方及び65歳未満の方で、心臓・腎臓・呼吸器・免疫障害のある身体障害者手帳1級相当の方を対象に1人1回、1,000円の自己負担で厚木医師会の協力を得てインフルエンザ予防接種を行っている。

## 2. 指標(事業の成果・活動内容等を数字で表します)

本事業が属する総合計画の節の成果指標		指標名	平成21年度	平成28年度
		『健康づくりの推進』について「満足」と感じる住民の割合(%)	45.6	56.0

  

指標の名称(単位)	増減	指標の説明	項目	基準年度(H22年度)	平成22年度	平成23年度	平成24年度
成果指標 接種者数(人)	増	感染予防上、より多くの人が接種することが望ましい。	計画値		8,654	8,840	8,883
			実績値	5,144	5,144	4,770	
			達成度※自動計算		59.4	54.0	
活動指標 広報(周知)回数(回)	増	対象者へ接種を呼びかけるため、広報回数を指標とする。(手段) 町広報誌、HP	計画値		3	3	3
			実績値	3	3	3	
			達成度※自動計算		100.0	100.0	

※ 増減欄は、指標の値について、増加が望ましい場合に「増」、減少が望ましい場合に「減」を記入する。

## 3. 事業費の推移と財源内訳

(E) 平均人件費(円/年) 8,300,000

年度	基準年度(決算)(H22年度)	平成22年度(決算)	平成23年度(決算見込)	平成24年度(予算)
(A) 事業費(円)	20,042,824	20,042,824	18,764,732	20,316,000
(B) 概算職員数(人)	0.084	0.084	0.084	0.084
(C) = (B) × (E) 人件費(円) ※自動計算	697,200	697,200	697,200	697,200
(D) = (A) + (C) 総事業費(円) ※自動計算	20,740,024	20,740,024	19,461,932	21,013,200
単位当たりコスト ※自動計算	4,031.9	4,031.9	4,080.1	
財源内訳(円)	特定財源			
	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
一般財源 ※自動計算	20,740,024	20,740,024	19,461,932	21,013,200

#### 4. 事業の項目別評価(分析)

項目	判定基準	判定 ※一部自動判定	評価 ※自動判定
妥当性 (公費を投入して実施することが妥当な事業か)	公益性 直接的である、間接的であると問わず、事業の実施による効果が不特定多数の人に広く及ぶ性質か	高	A
	必要性 当該事業を実施しなければ町民生活に支障をきたすなど、必要不可欠なものであるか	高	
有効性 (基準年と比較して成果が上がっているか)	成果指標について平成23年度の目標を達成している	×	C
	基準年度と比較して成果が向上している	×	
効率性 (なるべく費用をかけずに成果を上げているか)	基準年度と比較して費用の縮減ができていない (判定基準) A 成果が向上しているが、費用も増加している B 費用が増加しているが、費用の増加率よりも成果の向上率の方が高い C 成果が向上しているが、成果の向上率よりも費用の増加率の方が高い 費用を増加し、成果も低下している	向上率 成果 92.73%	C
		縮減率 費用 93.84%	
総合評価 ※自動判定		改善すべき点がある	

#### 5. 特記事項

--

#### 6. 1次評価(担当課)

評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 改善して実施する	<input type="checkbox"/> 廃止
理由	当該予防接種は、個人予防に特化されているため。		
今後の方向性	上記の理由から、対象者は増えるが、接種率はほぼ横ばいとなる見込みである。		

#### 7. 2次評価(庁内行政評価委員会)

評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 改善して実施する	<input type="checkbox"/> 廃止
今後の方向性に係る意見等	接種者数は、町として対象者全員に受診券を送付し、対象者が接種の必要性を判断した結果の数値であり、接種するか否かについては流行的な要素が大きいことから、やむを得ないものと判断する。したがって現状維持とするが、対象者数の増加が見込まれることから、将来的に自己負担額の見直しを検討すべきである。		

#### 8. 外部評価(行政改革推進委員会)

評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 改善して実施する	<input type="checkbox"/> 廃止
今後の方向性に係る意見等	接種者数の増加が見込まれるため、将来的に自己負担額の増額を検討すべきである。また、予防接種の効果を認める以上、接種率の向上にも取り組むべきである。		

#### 9. 外部評価(実施のない場合は2次評価)を踏まえた対応案(担当課)

<p>インフルエンザの予防接種は、「接種を受ける法律上の義務は無く、かつ、自らの意思で接種を希望する者のみに接種を行うもの」とされており、積極的な接種勧奨にならないよう留意することとされていることから、この趣旨を踏まえ、対象者が接種の必要性を判断できるよう、予防接種の効果や副反応、その他注意事項について周知を行う。</p> <p>自己負担額の見直しについては、他の予防接種等の実施状況や近隣の状況を見ながら検討していきたい。</p>
---

#### 10. 町の最終方針(行政改革推進本部会議)

評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 改善して実施する	<input type="checkbox"/> 廃止
理由・改善方針	当面は現状のまま事業を継続しつつ、所管課の対応案のとおり、自己負担額の見直しの検討を行い、平成25年度中に一定の結論を得るものとする。		